

■本居長世 作曲家。童謡運動に身を投じて、多くの傑作童謡を作曲し、普及のため娘ら連れて演奏活動。

もとおりながよ

内閣発足・1885= 東京下谷で、本居宣長を祖とする国文学者本居丁信の子に生まれる。

帝国大学始・1886= 1歳：母が腸チフスで死去、父も去ったため、以後、祖父本居豊穎のもとで祖父母を両親と思ったまま育ち、

この間、江戸川へ転居。

帝国憲法発布1889= 4歳：

大本教・・・1892= 7歳：東京高等師範付属小学校に入学。

日清戦争始・1894= 9歳：

白馬会・・・1896=11歳：この年、祖父豊穎が皇太子(後の明治天皇)の教育係東宮侍講となる。

八幡製鉄始・1897=12歳：卒業し、同付属中学校に入学。突如実兄が登場、お家騒動が起こって、廃嫡となり、

Bushidou・・・1899=14歳：独協中学校2年に転入するも、休学。_漠然と音楽を志すようになる。

田中正造直訴1901=16歳：特待生になるも、病気理由に退学し、

教科書疑獄・1902=17歳：_東京音楽学校に仮入学、祖父からピアノを贈られ、

日比谷公園・1903=18歳：_首席で卒業し、本科器楽科に進む。ケーベルの指導を受け、

日露戦争始・1904=19歳：病気で長期欠席し留年となる。

日露戦争終・1905=20歳：樂友会主催の「戦後祝賀音楽会」に出演。再び、病気で長期欠席、
満鉄発足・・・1906=21歳：留年となり、首席の座を譲るも、

アラモ創刊・1908=23歳：_全学首席で卒業。母校で教鞭をとるかたわら、文部省による邦楽の調査研究にも従事。

伊藤博文暗殺1909=24歳：結婚。_おとぎ歌劇「月の国」、

韓国併合・・・1910=25歳：_器楽部助教授となる。フィルハーモニー第1回演奏会でピアノ曲「数え歌ヴァリエーション」を自演、

大逆事件判決1911=26歳：長男が夭折。

明治天皇没・1912=27歳：長女みどりが誕生。*白木屋音楽部顧問となり、喜歌劇「浮れ達磨」を上演、代表作に。唱歌「達磨さん」。

大正政変・1913=28歳：祖父が死去、実父の存在を知る。_国民歌劇会結成、小歌劇「夢」初演、「数え歌ヴァリエーション」等評判。

第一次大戦始1914=29歳：次女貴美子が誕生。助教授を外される。_宝塚少女歌劇養成会第1回公演で喜歌劇「浮れ達磨」、白木屋でお伽歌劇「月の国」「夢」上演。巖谷小波と出会い、以後親交。「涙の幣」がケンブリッジで演奏される。

21ヶ条要求・1915=30歳：次男が誕生。脳溢血で倒れ危篤、回復するも右手指に後遺症。

民本主義・・・1916=31歳：_東京音楽学校を退官。

ロシア革命・1917=32歳：赤坂に転居。

本格政党内閣1918=33歳：_弟子の弘田童太郎らと{如月社}結成、西欧の音楽をふまえ新しい日本音楽の方向を探るうち、

ペリー條約・1919=34歳：三女若葉が誕生。肺炎で危篤。_尺八の吉田晴風を通じて箏の宮城道雄を知り、3人の交流が始まり、

大暴落・・・1920=35歳：「本居合唱曲集」刊行。目黒に転居。*新日本音楽運動へと発展。山田耕筰や中山晋平らとともに童謡運動に身を投じ、野口雨情「葱坊主」皮切りに、毎号{金の船}に童謡を発表するうち、新日本大演奏会で長女に「十五夜お月さん」を歌わせて童謡歌手1号にするとともに、一躍童謡作曲家の名声が高まり、

原敬首相暗殺1921=36歳：*早速レコード化される。「新作童謡」刊行。{とんぼ社}顧問となり、{金の船}、西條八十創刊の雑誌{かなりや}ほか諸雑誌に、「お山の大将」「七つの子」「赤い靴」「めえめえ小山羊」「青い眼の人形」「通りゃんせ」。長女連れて九州巡演、さらに御前演奏。以後、多作となるも傑作は少なくなるが、

水平社結成・1922=37歳：四女が誕生するも夭折。{金の船}が分裂。_次女も童謡歌手デビューさせ、娘2人連れ全国巡演。

関東大震災・1923=38歳：_「浮かれねずみ」ほか、震災答礼音楽会のため、娘2人連れ、ハワイでの大歓迎を経てアメリカに赴く。

護憲三派圧勝1924=39歳：_自ら作詩した「ないしょばなし」が評判。カリフォルニア州で答礼公演。排日運動で興行が厳しいなか、オヒューム劇場と契約し、娘2人が藤原義江・上山草人と共演などするが、消耗して帰国。

治安維持法・1925=40歳：_NHKの試験放送に娘2人と出演、姉妹はラジオの人気者となり、以後本居親子は最多出演の記録。樺太まで演奏旅行後、三女もデビューさせて全国巡演するなど、童謡普及に尽力。「俵はごろごろ」ほか。

円本時代始・1926=41歳：{童話}廃刊となる。_台湾への初の演奏旅行。「居眠り地蔵」「おくれ時計」ほか。

金融恐慌・1927=42歳：{シンフォニー新作楽譜}創刊。_「汽車ボッポ」ほか、

共産党事件・1928=43歳：日本作曲家協会理事。_《第2次如月社》発足。「桃太郎」ほか。

世界恐慌・1929=44歳：_コンクールで「ジャンヌ・ダルク」が1位。

海軍軍縮条約1930=45歳：_吉本新喜劇に出演し、各紙で批判を浴びる。

満州事変・1931=46歳：長女が結婚し失意。*「日本童謡曲集」を編集し刊行。_戦時体制となって、唱歌全盛となって行くなか、

五一五事件・1932=47歳：この年、秘密裏に散財するのに面倒見続けていた父が覚悟の自殺。世に知られてしまったことから、姿消そうと一浩と改名。_新橋に{本居ミュージック・スタジオ}を開設、

国際連盟脱退1933=48歳：帝国ホテルで楽劇「夢」再演。

帝人獄事件1934=49歳：「本居一浩童謡曲集」を刊行。台湾を再訪。名前を長世に戻した後長豫と改名。

芥川直木賞始1935=50歳：前年来の明治天皇御製百首の作曲を完成、自ら負担して発表会も開催。ライ予防法成立に憤慨し、瀬戸内大島の療養所{青松園}へ慰問の次女・三女連れて演奏旅行するも、世に伏せられたままになる。

二二六事件・1936=51歳：次女が結婚して、また打撃。

日中戦争始・1937=52歳：目黒の城も失い成城に転居。_この年まで、童謡作曲を続け、オペラ・合唱曲含め約780の作品を残して、健保+総動員 1938=53歳：長女が死去。「御製・謡曲集」を自費出版。

第二次大戦始1939=54歳：

日米開戦・1941=56歳：

敗戦・・・1945=60歳：_敗戦直後、自宅で、肺炎で、没した。